



# まほろばの丘から



令和4年10月12日 文責 校長 江口 尋信

10月11日、令和4年度の後期が始まりました。ちょうど1年の折り返しを迎えたこととなります。「第7波」となるコロナの感染拡大に悩まされた前期でしたが、保護者や地域の皆様のサポートのおかげで無事に後期を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

## あるドキュメンタリー番組から

さて、先日、ドキュメンタリー番組で、東南アジアのとある村の生活の様子が紹介されていました。その村の子どもたちは、植物の蔓<sup>つる</sup>でできた吊り橋を渡り2時間以上かけて小学校へと通っていました。ある日、吊り橋を渡っていた男の子が、サンダルを川へ落としたのですが、新しいサンダルを買うことができません。そこで、男の子は、サンダル代を得るため、繊維になる植物を集め市場で売ることになりました。何時間も森に入り植物を集めても、得るお金はわずかなもので、しばらくは裸足で2時間の道のりを歩いて登校することになったのです。インタビュアーが「そんなに大変なのに、なぜ学校へ通うの？」と尋ねると、恥ずかしそうにはありますが、はっきりと「学校の先生になりたい。村の子どもたちに勉強を教えることが夢だ。」と答えていました。

テレビを観ながら、改めて、教育・学校のもつ意味を考えさせられました。ある大学の先生は「学校は、すべての子どもが生きたいように生きられる力を育むためにある。」と述べています。先に紹介した男の子は学校へ通うことで、先生になり村の子どもたちに勉強を教える夢を実現しようとしています。子どもたち一人一人の「〇〇になりたい。〇〇が夢だ。」という気持ちを大切にできる学校、教師でありたいものです。

## 前期の評価について

児童、教師、保護者の三者による「前期の学校評価」の結果をまとめました。保護者の皆様にはアンケートにご協力をいただき、ありがとうございました。結果は裏面に掲載しています。本校が重点的に取り組んでいる「黙って掃除（黙働）、にっこり挨拶、しっかり学習（姿勢、聴く、書く、伝える）、心をつなぐ言葉」については次のような結果になっています。

### 【比較的高い数値（子ども・教師・保護者のうち二者以上で「平均3」を超えた項目）】

- ふわふわ言葉を使っている、適切な言葉遣いをしている
- 黙って掃除をしている
- 自分から進んで挨拶をしている、地域の人にも進んで挨拶をしている

### 【比較的低い数値（子ども・教師・保護者のうち二者以上で「平均3」を下回る項目）】

- 腰骨を立てて学習している、一定の時間姿勢の保持ができる
- 相手の目を見て話を聞いている
- 自分の考えを時間いっぱい集中して、たくさん書いている
- 進んで発表している

こうやってみると、掃除、挨拶、言葉遣いという生活場面での評価は高くなっていますが、学習中の学び方、学習規律の面での評価が低くなっています。基本的な学び方、学習規律は、子どもたちの学力向上に直接関わってきます。この結果をもとに、日頃の授業づくり、指導を見直していきます。ご家庭でも、上記のような項目を意識して子どもたちに関わってもらえたらと思います。